

3月 March

29 日

土曜日

大安 アートの日

メモ

◎ 参加プレゼンテーター

Survivant (アート企画運営任意団体)

SEMBL (ファッショニ)

ゼロ研 (アートユニット)

新宿眼科画廊 (画廊)

DIG & BURY (アートユニット)

高橋 慎 / クライシングダイサム

アキテクト (デザイナー)

福住 廉 (美術評論家)

松井 茂 (詩人)

和田 昌宏 (artist)

◎ ゲストコメンテーター

ロジャー・マクドナルド

(キュレーター、AIT)

小澤 慶介 (キュレーター、AIT)

藤浩志 (美術家)

面白さう
志あるなよ!!

3月 March

25	26	27	28	29	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

◎ タイトル：オルタナティブ東京『ダダをこねる/01』

◎ 期日：2008年3月29日(土) 17:30開場

◎ タイムスケジュール

18:00~20:30 プrezentation/ディスカッション

20:30~23:00 ダダこねパーティー(入場無料)

◎ 会場：project space KANDADA

◎ 入場：1,000円 (1DRINK付き)

KANDADA

オルタナティブ東京『ダダをこねる/01』

このプロジェクトは、目的のないプレゼンテーション合戦であり、表現するシンポジウムと言えるかもしれません。しかし、一回目なので展開はまったく読めません。結果よりリアルな動機を優先したいと思っています。うまくいかなくとも、ただ、ただ、ダダをこねたいくらい何か伝えたいのです。見せたいのです。話したいのです。動きたいのです。今、ここでしか起きないことを目撃したいのです。

3月29日は、コンテンポラリー・アート・デザイン、ファッションまで、多様なジャンルで活躍しているエッジなクリエーターをプレゼンターとして招きます。いったいどんなプレゼンが行われるのか？ 時間は10分以内！ オルタナティブ東京！ KANDADA発でダダをこねます！

Alternative Tokyo: Dada-things-up a bit!/01

This project is a 'contest' of presentations without purpose - what we might call a "Symposium of Expression".

In this first meeting, we have no idea of how the event will develop, but then neither do our presenters. What we hope for here is to see each presenter's passion; their passion to get 'something' across, their eagerness to show, to talk about, or make moves to do something, that is what we want here. Success or failure is irrelevant. We invite our participants all to witness only what happens here and now.

On 29th March, Command-N will invite a host of exciting creators from the various fields of contemporary art, graphic design and fashion to present their ideas to us all, and to do so in only 10 minutes! Alternative Tokyo: Kandada will be the place to "Dada" things up a bit!

参加プレゼンター



DIG&BURY

2007オダユウジと寺澤伸彦により結成。

「冒險をするように表現する、その表現は人種も国籍も場所も選ばない」というテーマのもと、世界各地にてパフォーマンスを行う。主な活動として「オダユウジの竹島上陸作戦」、「Let's被曝in柏崎」、世界の海から手紙を流す「lettersfrom slowboat」など。近い将来バングラデシュビエンナーレ選出予定。

www.digandbury.jp



SEMBL / ANJO, MAKIO

2006AW～ENSEMBLとシンプル管から名付けられたSEMBLは人と人を繋いでいく、世界とつながる、世界をひろげるという理想から生まれました。

NON-AGE、快適、無骨、知性、伝統、素朴、公平さといった感覚を大切にし、相反するアイデアをMIXした洋服を展開。コレクションはある男の旅がシーズンテーマ。男は様々な自分自身の在りかたをワードローブを通して表現します。

ドイツからはじまる旅を仲間として一緒に楽しんでください。



高橋慎 / クライン ダイサム アーキテクツ / SHIN TAKAHASHI / Klein Dytham architecture

1978年 神奈川県生まれ。

桑澤デザイン研究所卒業後、2002年よりKlein Dytham architectureに参加。主にインテリアデザイン、グラフィックデザインを担当。

現在までに、商空間、ホテル客室内装、オフィス、展覧会等、様々なプロジェクトに従事。



サバイバート / Survivart

『お金が全てじゃない』から、「お金のことを考える」。2004年11月に始動したSurvivart（サバイバート）は、厳しい現実を「超えて生きる（ラテン語/SUR+ vivere : 超えて+生きるの意）」ため、多様なバックグラウンドを持つメンバーで構成されている集団です。サバイバートは、日本の芸術・表現の場で語ることを敬遠されがちだった「お金」というキーワードに取り組み、展覧会、対話空間、出版物、アーティスト支援、イベントなど、コミュニティのネットワークを重視したサービスを提供しています。

<http://survivart.net>



ゼロ研 (第0研究室) / ZERO KEN

03年 東京芸大院生を中心に結成。茨城県取手市を拠点に、アートを通じた交流活動を行っている。交流スペース「あーと屋えまる」をNPO法人取手ぶるくると共同運営、夏祭りのゴミ問題を楽しく解決する「ゴミコン（ゴミ箱コンテスト）」を開催するなど、地域にある問題に対して「アート」というツールがいかに有効に働くかを検証実施中。

<http://www.zeroken.org/blog/>



松井 茂

2001年1月7日以来、決して止むことなく詩を書き続けている。ゆえに、私は詩人である。

活動履歴。1998～2004年まで藤井貞和、高橋悠治、新井高子、坂輪綾子と詩の同人誌「ミテ」に参加。2000～2004年まで美集中ザワヒデキの「方法」に参加。新聞、雑誌、美術館、ギャラリー、音楽会、web、E-mailで詩作品を発表。詩集、『同時並列回路』『オルガ・プロスキーの墓』『量子詩（テキスト版・グラフ版）』松井茂短歌作品集』『Camouflage』vol. 1～3の8冊。

<http://www.008.upp.so-net.ne.jp/methodpoem/>



新宿眼科画廊 (タナカチエコ / 代表) / Shinjuku Ophthalmologist Gallery

名前に【画廊】と付いているので【画廊】のような気がしますが、あまり【画廊】であることにはこだわっておりません。ただ【新宿眼科画廊】という場所だつていうだけのことで、ここにはお米3合以上のドラマチックが待っています。世界はわからないことだらけで、謎と不思議が満ち溢れ、何だか面白そうなことが起こる予感がします。

<http://www.gankagarou.com/>



福住 廉 / FUKUZUMI Ren

1975年生まれ。美術評論家。九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程単位取得退学。

「BT/美術手帖」「artscape」「エスクアイヤ日本版」「共同通信」「図書新聞」などに寄稿。共著に『フィールド・キャラバン計画へ』（水声社）、「ビエンナーレの現在」（青弓社）。展覧会のキュレーションに「21世紀の限界芸術論」（ギャラリーマキ）。

横浜発のフリーペーパー「HAMArt！」編集長。



和田 昌宏

1977年 東京都生まれ2004年Goldsmiths College University of London, BA Fine Art 卒業。

2001年東京都拌島の米軍ハウスにて "HOMEBASE" の企画・運営を開始。

個展に2008年 "和田昌宏展「L.D.K.」" / Art center Ongoing (東京) 他、個展、グループ展多数。

オルタナティブ東京『ダダをこねる-01』

期日：2008年3月29日(日)

17:30開場

18:30～20:30

プレゼンテーション/ディスカッション

20:30～23:00

ダダこねパーティー（入場無料）

会場：プロジェクトスペースKANDADA

入場：1000円（1 DRINK付き）

Alternative Tokyo: Dada-things-up a bit!/01

Saturday 29 March, 2008

Open : 17:30 Start

18:30～19:00(DOOR 1000yen 1drink+food)

KANDADA

お問い合わせ

project space KANDADA

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-9精興社1F

1F seikosha 3-9 kandaishikicho

chiyoda-ku tokyo 101-0054

HP: <http://www.commandn.net>

E-mail:kandada@commandn.net

tel.03-3518-6176

fax.03-3518-6177

アクセス

JR線

御茶ノ水駅より徒歩20分

都営地下鉄東西線

竹橋駅1b出口より徒歩3分

都営三田線・新宿線、都営半蔵門線

神保町駅A9出口より徒歩3分



主催：アーティストユニットコマンドN commandN

協賛：精興社 SENKO SHOKA PUBLISHING CO., LTD. [\[http://www.seikosha-p.co.jp/\]](http://www.seikosha-p.co.jp/)

支援：文化庁芸術団体人材育成支援事業